

迫愛会 Jr.

ファミリアマートカップ
第36回
全日本バレーボール小学生大会出場

迫愛会 Jr. バレーボール スポーツ少年団

2000年結成。小学1～6年まで8人が在籍。伊藤好代表、袋和人監督。
選手は前列左から、佐々木菜那、三浦彩羽、田口芽依、山田祐奈、後列左から、遠藤羽衣、石川海璃、山田玲寧、高橋かな。



ファミリアマートカップ第36回全日本バレーボール小学生大会宮城県大会(以下、県大会)は6月25、26の両日、大崎市の田尻総合体育館で開かれ、迫愛会 Jr. が2年ぶり2度目の優勝を果たした。
「目標だった全国行きを決められてうれしい。支えてくれた地域や保護者、関係者の皆さんのおかげです」と、主将の三浦彩羽は、優勝の喜びと感謝の気持ちを語った。

県大会には、各地域の代表34チームが参加。本年2月に開催された宮城県小学生バレーボール新人大会で優勝した迫愛会は、第1シードで2回戦から登場した。

25日の初戦、船迫チェリース戦、3回戦の富永女子バレーボールクラブ戦、準々決勝の金剛沢フェニックス戦を、全て2-10で勝利し、危なげなく準決勝に進めた。

迎 えた26日の準決勝、川崎アタックカーズ戦。大型アタッカー2人を擁し、強力な攻撃力が売りの強豪だ。ここで袋和人監督が、上位陣対決用のカードを切った。今大会、レフトで使い続けていた、エース山田玲寧を、本来のポジションのライトへ変更する。

今大会初のフォーメーション。緊張からか、序盤に流れを失ったまま第1セットを18-21で落としてしまふ。

嫌なムードを変えたのは、長年好敵手として、県北の仲間として切磋琢磨してきた、上野目バレーボールクラブと一迫クラブ、そして迫愛会のOBたちの大声援だった。

力強い後押しを受け、選手たちはのびのびとプレー。多少押し込まれる場面もあったが、第2、第3セットを連取し、見事勝利。大一番を制した勢いで、続く決勝のゆりが丘ウインディーズ戦も2-10で下し優勝を決めた。

全 国大会は8月9、12日、東京体育館を主会場に開催される。三浦主将は「全国での目標はベスト8。相手が強豪でも、気持ちで負けず絶対に勝ちます」ときっぱり。

「心はひとつ」。チーム結成直後からのスローガンだ。この言葉通り、選手とベンチ、保護者、地域、関わった人全ての心をひとつにし、全国8強の扉を開こうとしている。

第65回 県中総体結果

平成28年7月22～25日

- 【陸上男子】
▼2年100m ⑧鈴木啓太(佐沼)
▼200m ②藤原優真(佐沼)(東北大会) ▼砲丸投げ ⑥佐藤稜(中田)
▼棒高跳び ①千葉星那(米山)(東北・全国大会) ②芳賀康介(佐沼)(東北大会) ③石川隼(新田)(東北)

- 大会 ④三浦竜輝(佐沼)(東北大会) ⑤小泉宗士(米山) ⑥石川諒(新田) ▼走り幅跳び ⑤及川文也(佐沼) ▼四種競技 ⑦富士原優人(佐沼)
【陸上女子】
▼走り高跳び ④佐藤真恋(南方)(東北大会) ⑧川口ゆりか(南方)
▼ソフトボール
▼男子 ②佐沼中(東北大会)
▼ソフトテニス
▼男子団体 ②南中(東北大会)
▼男子個人 ③白鳥怜・星椋也(南方)(東北大会)

- 【バドミントン】
▼男子個人ダブルス ⑤大橋龍成・三田大樹(中田) ▼女子団体 ②南中(東北大会) ▼女子個人ダブルス ③小泉りの・三浦咲乃(南方) ▼女子個人シングルス ⑤菅原葵(東和)
【柔道男子】
▼73kg級 ③佐藤芽人(豊里)(東北大会) ▼81kg級 ②伊藤蓮(米山)(東北大会)
【柔道女子】
▼団体 ③米山中 ▼52kg級 ②阿部彬奈(米山)(東北大会) ▼63kg級 ③加藤ほのか(米山) ▼70kg超級 ①

- 佐々木あすか(佐沼)(東北・全国大会)
【剣道女子】
▼団体 ①中田中(東北・全国大会) ▼個人 ③平野彩那(佐沼)(東北大会) ⑤小諸晴菜(中田)(東北大会)
【相撲】
▼団体 ②米山中(東北大会) ▼個人 軽量級 ③大立目直希(米山) ▼1年 ④佐藤直哉(米山)(東北大会) ▼3年 ①大立目直希(米山)(東北大会)

- 【水泳男子】
▼50m自由形 ②千葉悠正(佐沼)(東北大会) ▼100m背泳ぎ ⑥富士原雅仁(佐沼) ▼200m背泳ぎ ⑦富士原雅仁(佐沼) ▼100mバタフライ ①千葉悠正(佐沼)(東北大会) ▼200m個人メドレー 全国大会 ▼200m個人メドレー ③渡邊偉月(佐沼)(東北大会) ▼400mリレー ④佐沼中(東北大会) ▼400mメドレーリレー ②佐沼中(東北大会)
【水泳女子】
▼400m個人メドレー ④武山千夏(佐沼)(東北大会)